

グラウンド・ゴルフ国際大会

Y U R I H A M A 2 0 1 8

意見交換会議事録

日 時 2018年5月19日(土)

15:30~18:00

場 所 国民宿舎水明荘

日 程 1. 開会

2. あいさつ

3. 内容

(1) ワールドマスターズゲームズ

2021関西について

(2) 用具について

(3) 国際組織について

4. 閉会





<出席者>

【来賓】

公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会長、常務理事

【各国代表者】

韓国：(社)大韓グラウンドゴルフ協会長、事務局長

台湾：中華民國グラウンドゴルフ協会理事長、副理事長

モンゴル：モンゴルナショナルグラウンドゴルフ連盟会長、役員

ウランバータル市チンゲルテイ地区長、交流部長

ウブルハンガイ県副知事

【主催者】

湯梨浜町長、副町長、教育長、生涯学習課・人権推進課長、みらい創造室長

鳥取県地域振興部スポーツ課長



1. 開会

副町長：この度は、「グラウンド・ゴルフ国際大会 YURIHAMA2018」にご参加いただき、誠にありがとうございました。ようこそ、おいでくださいました。ただいまから、グラウンド・ゴルフの国際化に向けての意見交換会をはじめさせていただきたいと思っております。終了時刻は17時としております。短い時間ではございますが、ご協力をお願い申し上げます。

それでは、本日、出席いただきました皆様をご紹介します。

<出席者を紹介>

皆様には、後ほどご意見を伺いたいと思っております。それでは、最初に湯梨浜町長が皆様にごあいさつを申し上げます。

2. あいさつ

町長：どうも皆様お疲れ様でした。今日の調子はいかがでしたか。台湾の会長様がホールインワンを出されたそうです。今日はこうやって3か国からお越しいただきました。2泊3日で、こういうゆったりした大会も良いのかもしれないと思いつながら、試合を拝見させていただきました。ワールドマスターズゲームズ2021関西について、用具について、国際組織についての三つの議題を設けておりますけど、この後、皆さんから色々なご意見やお考えなどをお聞かせいただきたいと思っております。限られたお時間ですが、どうぞよろしく願いいたします。

3. 内容

副町長：それでは、グラウンド・ゴルフ国際化に向けて三つの課題について、鳥取県及び湯梨浜町がご説明いたします。その後で、各国のご意見を伺いたいと思っております。お話と通訳の順番ですが、それぞれ通訳が必要となりますので、少しお話をいただいた後、その国の通訳の方が日本語に通訳していただき、その後、それぞれの通訳の方が、各国の母国語で説明していただきたいと思っております。

ここから、進行を町長にお願いします。

町長：それでは、資料を準備しております、三つの議題について話し合いたいと思っております。最初に、ワールドマスターズゲームズ2021関西の状況などについて、鳥取県スポーツ課長に説明をお願いしたいと思います。

(1) ワールドマスターズゲームズ2021関西について

鳥取県：横長の資料をご覧ください。1ページ目です。ワールドマスターズゲームズとは、30歳以上の人であればだれでも参加できる、4年に1度開催されます、世界最高峰の国際大会です。できる競技は一つだけではなくて、登録すればいくつもの競技



に出場することができます。年齢ごとに競技を行い、年代別に上位の人にメダルが授与されます。

2 ページ目をお願いします。ワールドマスターズゲームズ関西大会は、2021年5月14日から30日までの17日間行われます。鳥取県を含めた、大阪、京都など関西地方一円で34競技58種目が開催されます。参加者の目標としましては、国内3万人、国外2万人、合わせて5万人です。

続きまして、3 ページをお願いします。少し分かりづらいですが、これは全部の競技の開催地がわかる地図になっています。鳥取県は左の上の方にあります。この地図には32競技、55種目と書いてありますが、最近追加されまして、この4月に34競技、58種目となりました。

次のページをご覧ください。こちらは鳥取県で開催される競技です。左からいきますと、米子市で柔道があります。倉吉市で自転車競技トラックとロードがあります。そしてこの湯梨浜町では、グラウンド・ゴルフが今日プレーしていただいた潮風の丘とまりで開催されます。それとアーチェリーのターゲットとインドアの二つの種目が鳥取市で開催されます。

最後のページをご覧ください。グラウンド・ゴルフのワールドマスターズの大会の概要です。開催期間は今回と同じ2日間でございます。開催方法としては1日目が2コース16ホール、2日目が2コース16ホールです。プレーは全年齢の皆さんがバラバラにミックスされて、一緒に行います。メダル表彰の区分を設けまして、年齢の区分を何歳きざみかで設けまして表彰いたします。開催日はまだ正式には決まっていますが、今のところ、5月下旬を予定しております。世界のグラウンド・ゴルフの愛好者たちとプレーできる、またとないチャンスです。上位入賞の場合はマスターズゲームズのメダルがいただけますので、是非お越しいただければと思います。以上です。

町 長：はい。ありがとうございました。ワールドマスターズゲームズ2021関西について鳥取県スポーツ課長にご説明いただきました。皆さんからご質問などはございますでしょうか。

台 湾：一つ確認したいことがございます。年齢区分はどのように設定されるのでしょうか。

鳥 取 県：今までの例ですと、グラウンド・ゴルフ以外の競技では、5歳刻みあるいは10歳刻みですが、グラウンド・ゴルフについては、競技団体と協議中でございます。

町 長：高齢者の数が結構多いものですから、一般競技のように5歳刻みというような分け方ではなくて、もう少し大きなくくりになると思います。ですから、具体的にはより若い世代は刻みが大きくて、比較的高齢者が多いところは年齢の幅を狭くするという考え方になると思います。よろしいですか。そのほかにありますか。

台 湾：参加人数や男女の制限はありますか。



- 町 長：男女の区別はありません。参加者数は672人ですけど、国内・国外については、これから検討します。
- 台 湾：一つの国で、何名参加するという制限はありますか。
- 町 長：1か国がどの程度になるのかということも、もう少し近くなると、大体何か国から参加されるのかということも含めて、今の段階では分かりません。当たり前の発想ですが、国際大会ですから、海外から来られる人をできるだけ優先する形にしたいと思います。
- 台 湾：ワールドマスターズゲームズの種目はとても多いです。参加するときは各種目を合わせて、一つの団体で参加するのでしょうか。あるいは別々に参加するのでしょうか。オリンピックでは、陸上や水泳など、参加の単位は国で一つです。グラウンド・ゴルフは、グラウンド・ゴルフ協会の一つの単位となりますでしょうか。
- 町 長：基本的にはグラウンド・ゴルフは個人種目ですので、個人参加です。日本グラウンド・ゴルフ協会が枠を設けて制限するというようなことではなくて、例えば、協会がなくても、国や地域の中で参加を希望される人があれば参加していただくこととなります。よろしいでしょうか。そのほかありますでしょうか。この点でまた何かございましたら、またお伺いするとして、時間がなくなってしまうので、次の議題に進みましょう。

(2) 用具について

- 町 長：皆様からいろいろなご意見が寄せられていますが、新たにグラウンド・ゴルフ協会が立ち上げられて、グラウンド・ゴルフを普及させていこうとされる時に大きな障壁になっておりますのが、用具でございます。ルールやグラウンド・ゴルフがどのようなスポーツなのかということは、多言語の冊子を作ったり、DVDを作成したり、さらにはインターネットで見えていただいたりすることで周知することが可能ですが、用具の普及は現物を入手する方法や、あるいはそれを買うお金のことなど、なかなか難しいと承知しております。
- このようなことから、湯梨浜町は二つの方法を考えております。一つは先週から始めたのですが、日本のグラウンド・ゴルフの愛好者の皆さんが使っておられないクラブやボールを集めるということです。もう一つの方法が、日本国内の人たちに寄付をお願いする、ガバメントクラウドファンディングというものです。寄付金を集めて、グラウンド・ゴルフを世界に普及させるものです。
- 普及の障壁になるのが用具の提供です。これを解決するために皆さんからご寄付をいただいて、グラウンド・ゴルフの用具を買って、必要な国や地域などにお送りしたいと、寄付金集めを5月15日から始めました。この寄付集めは、5月15日から3か月の期間を設けまして、その間に500万円を目標にしています。そのお金を活用して、例えばグラウンド・ゴルフの用具を提供したり、あるいは国際大会が開催される所で、いくらぐらいかは分かりませんが、協力金といっ



た形で10万円程度支出したりとか、あるいはグラウンド・ゴルフの指導者を大会の時に派遣して、各国に指導できる人を増やしていくという取り組みも考えています。

ちなみに、5月15日から始めまして、3日間で23万円の寄付が集まりました。愛好者の皆さんはもとより、湯梨浜町にゆかりのある会社ですとか、鳥取県出身で都会に暮らしている人ですとか、そういった人たちにも働きかけて、500万円を達成したいと思います。このような形で当面の用具の普及の解決策にすでに取り組んでいます。

もう一つは、相手方のあることで確定はしておりませんが、湯梨浜町まちづくり株式会社が販売の資格を取って、用具をメーカーから買って販売するという形です。中間マージンが減ってくるということも図れますから、このような取り組みで、安くご提供できるのではないかと検討しています。

これらのように進めていきたいと思います。皆さんからご意見やご質問はございますでしょうか。

韓国：グラウンド・ゴルフの用具に関して、去年も湯梨浜町に言ったことがあります。用具については、日本で作ったものは日本で使うというのが目的になっています。韓国や中国にも製造会社はありますが、品質は日本には負けます。だからといって、日本製のグラウンド・ゴルフの用具を、そのまま韓国に日本と同じ条件で仕入れして使っている訳ではありません。韓国のスポーツ協会が、グラウンド・ゴルフが国際協会的に認定されているかどうか、あるいはアジア大会協会認定されている用具であるのかといったことを確認した上で、韓国の人たちは日本で作ったグラウンド・ゴルフ用具をそのまま使えるということになります。認定されないと韓国では受け入れにくいということになります。

町長：ただいまのご意見はごもっともだと思います。グラウンド・ゴルフのクラブで、一番求められるのは安全性です。このため、日本国内では日本グラウンド・ゴルフ協会が技術基準を定めています。技術基準自体は公表されていますから、国際化の取り組みを始めてからこの技術基準をお送りした国もあります。そうであっても、安全であるということを確認することは必要だろうと思っています。次の議題にもありますが、まだ国際的な組織は設立されていませんから、そこで審査するというようなこともできません。ですから、当面、先ほど申し上げましたように、日本協会の基準を満たしたものを売ったり、買って送ったりすることになります。世界的な組織ができれば、ゆくゆくはその中で審査するという風に向かっていきたいと思っています。遅くとも2021年のワールドマスターズゲームズまでにそういう体制にしたいと思っています。国際的な組織ができるまでは、実質上技術基準を満たしているかどうかという検査は、日本協会が委託して実施していますので、これを活用して、商品化するということになるかと思っています。



モンゴル：ワールドマスターズゲームズにグラウンド・ゴルフが正式種目として入っているということは、今後のグラウンド・ゴルフの普及に大きく寄与すると思います。モンゴルでもグラウンド・ゴルフは普及してきていますし、さらにポーランド、ハンガリー、ロシア、カザフスタンでも積極的に普及の活動が行われています。また、チェコですとかドイツでもこれから普及を心掛けていこうという動きがあります。先ほど町長さんからお話のあったクラウドファンディングの取り組みは、グラウンド・ゴルフの普及に大きく貢献するものではないかと思っています。この用具不足の課題の解決に向かった、非常にありがたい取り組みだと思いました。

町長：ありがとうございます。頑張っていきます。今回は最初の3か月間ということで、まだ成果も出ていません。実はこれは1回だけじゃなくて数回に分けてやりたいと思っています。そしてゆくゆくは国際連合を設立するための費用に充当するようなことも考えています。

韓国：用具の工法とか基準とか、どういった形で用具を提供するのか質問です。提供する用具については国際協会を通じて提供するのか、あるいは個人に提供するのか。時期については、今年からなのか、連合が設立されてからなのか、どうなのでしょうか。

町長：現在のクラウドファンディングは、湯梨浜町が実施している事業です。先ほどモンゴルの会長さんがおっしゃられたとおり、海外で新たに始められようとしている国において、用具が不足しているために、なかなか組織を作ったり人を集めたりすることができないといった場合に重点的に配布していくという風に考えております。したがって、すでに組織として成り立っていて、人がたくさんいらっしゃる場所に、寄付によって買った物を送るということはないと思います。また、国際連合ができた暁には、十分普及されているところが、新たに取組まれるところを支援する、わたしがやっているようなことを連合体でやろうということになれば、それはそれで歓迎すべきことだと思います。

先ほど申し上げましたが、ルールブックなどは準備できますが、用具がないために人を集められないというようなことがありますから、そういう現状を打破するため、お渡しするのは基本的には新たに始めようとしているところになります。これは今湯梨浜町が単独でやっていることで、国際連合の中で一緒にやろうということになって、組織として新たに始められるところに対しての支援ができるようになれば、歓迎すべきことだと思います。では、用具のことはこの辺りで終わり、国際組織についてという議題に移りたいと思います。

(3) 国際組織について

町長：前回大会時の意見交換会の中でいろいろなご意見をいただきました。いきなり役員構成ですとか、具体的な人事などの議論もしていただきました。なかなか各国の皆さんのお気持ちがあって、一つにはならず、決めることができませんし



た。今わたしが考えているのはとりあえず、地域を限定して決めようとするとしても課題が出てくるということで、例えばこれはわたしが勝手に考えたものですが、会員やグラウンド・ゴルフの愛好者が300人以上いらっしゃる地域・国ということになると、自ずから現在の世界の状況からみると限られてきます。多分、日本、韓国、台湾、中国の上海、モンゴル、スペインということになるかと思います。このメンバーでとりあえず、立ち上げてみてはどうかと考えています。会員が増えてきて、連合体に参加される国が増えてきたら、その時に考えて改正すればいいと思います。とりあえず今お話ししたような考え方で、理事国というか、役員というか、そういう構成にしたいと思います。

台湾：日本がグラウンド・ゴルフに力を入れていることを心から感謝しております。国際組織がないと、世界の国々に広まることはなかなか難しいと思います。台湾と中国はなかなか難しい背景を持っていますので、国際組織がなかったら台湾はなかなか参加することができないと思います。国際組織があれば、台湾もオリンピックと同じように、チャイニーズ台北みたいな感じで参加することができると思います。

町長：わたくしどもも台湾にぜひ加わってほしいと思っています。4ページをお開きください。スケジュールということで書いています。連合体をどういう組織でどういう形で作るかということはこれから議論していかなくてはなりません、とりあえず検討委員会を設けて、その中で議論して決めたいと考えております。それでその検討委員会の検討メンバーを先ほど申し上げました、300人以上の会員のいらっしゃる地域あるいは国で、構成したらどうかということでございます。気持ちといたしましては、当面先ほど申し上げました国で理事を構成するような形で、これらの国が検討委員会の構成メンバーとして検討するというので、次回、モンゴルで開催されますアジア大会の時に、意見交換会の場をセットしていただき、そういう方法でみんなやろうということで決めていただければ、大いに進むのではないかと考えています。検討委員会は2018年にモンゴルで設立しましょうということを決めていただいて、2019年中に検討委員会を必要に応じて開催し、2020年にワールドマスターズゲームズのプレ大会を開催しますので、その年には国際連合の設立を図ると、そして、ワールドマスターズゲームズの年には、きちんと国際連合としての形を目指していきたいと思いますがいかがでしょうか。

韓国：組織を作る話はあと回しにする、それでは遅いし、2021年に作る組織はグラウンド・ゴルフの用具不足と全く同じ問題です。韓国でも同じですが、プレーする参加者が多ければ多いほどいいのですが、韓国からでは費用が一人当たり、10万円くらいかかります。たくさんの人に来てくださいと言っても、無理があるので行けないと断られます。国際協会があれば、支援などにより10万円が5万円になる可能性があるし、人数も今以上に増えるのではないかと思います。そう



いう訳で、2021年までに協会組織を作るのではなく、早めに作れば、国際組織のおかげで、個人で行く時には10万円かかるところが5万円くらいになるような支援を受けることもあり得るかなと思います。

町長：おっしゃったことはごもっともだとわたしも思っています。とりあえず先ほど申し上げました国で検討委員会を設けて、検討して進めていけばいいと思っていますが、時期的にはそれは早い方がいいと思います。用具の面からも早い方がいいのはよく理解できますが、実は、国際連合を設立した時に、その国際連合の運営費をどうやって賄っていくのかということが、大きな課題です。本来でしたらそういう組織は、各参加団体がお金を拠出し合って作りますが、グラウンド・ゴルフの場合、なかなかそうはいかない面があると思います。先ほどお話があったように国際的な組織ができて、国際組織が大会をやるから派遣するのに支援してほしいというような場合に、支援制度を設けている国と、そうではない国が現実的にあるのも存じております。そういう観点から、湯梨浜町では、各国を回るだけでなく、東京にある大使館に出向いて行って、支援制度の確立のお願いなどを行っているところです。このような取り組みの一方で、これから作る検討委員会の中で、どういう方法でやっていこうかなどといったことを、みんなで熱意を持って、進めて、早めていければありがたいと思っています。

韓国：参加可能な国で早めに連合を作り、今すぐ参加できない国は後で加入するということにはどうでしょうか。

町長：最短のスケジュールを考えた時に、モンゴルの大会の時にこういう形の連合体を検討しましょうということを決めて、資料で2018年9月に検討委員会の設立と書いており、次の上海大会の時には具体的なことも踏まえたところで検討委員会を開催していただく、という方向で考えています。その際に検討委員の皆さんのご議論の中で、これでは遅すぎる、もっと早くやるべきだというご意見により、早めていく、あるいは収益を確保するために湯梨浜町が寄付を募ったような方法によりいくらか充当できるようにしたいと考えていますが、その辺りのことも一緒になって、政府に要望していく必要があるのかもしれない。そういう取り組みもしていければと思っています。

モンゴル：国際連合設立の必要性は大変高いと思っております。日本発祥のグラウンド・ゴルフですが、グラウンド・ゴルフの国際化に湯梨浜町のみならず、日本グラウンド・ゴルフ協会も協力していただいていると思います。日本発祥のスポーツなので、日本国内のプレイヤーの数が一番多いと思っています。ですから、国際化に向けて日本グラウンド・ゴルフ協会も今後いろいろとご協力いただけていると思っています。モンゴルでアジア大会が開催される予定です。アジア大会の際に国際協会の設立に向けて積極的に取組んでいこうと思っています。モンゴルで開催される大会は、アジア大会ですので、今回参加された台湾、韓国からもプレイヤーを派遣していただけたらと思っていますので、よろしくお願ひします。



- 町 長：モンゴルから、是非、アジア大会には韓国、台湾にお越しいただきたいとお話がありました。これについて今のお考えですとか見込みとかありましたら簡単にお願ひします。
- 韓 国：組織設立のために、モンゴルのアジア大会に参加するのは良くないと思っています。わたしたちはモンゴルで開催されるアジア大会に参加できるかどうか今のところは分かりません。組織設立のためにアジア大会に参加してくださいということはあまり良くないと思います。
- 町 長：それはちょっと本末転倒な話になると思います。アジア大会が開催されるのはすでに決まっています、今日の話は、検討委員会をどういう形で設置するのかということ。これをモンゴル大会の時に決めていただけたら、ということでございます。台湾も韓国も参加が難しいということでしたら、湯梨浜町からも副町長が行くようにしております。鳥取県からもスポーツ課長が行ってくださることになっていきますし、少なくともこういう方針でやりたいということ、ここにいらっしやらない国々にも問いかけておくということが必要なことだと思ひますので、ご理解いただければと思ひます。
- モンゴルで願ひしたいというのは、こういう形で検討委員会を設けようということであって、中身を決めようということではありません。負担金をどうやって集めるかなど中身のことでなくて、検討委員会の構成を会員が300人以上いる国・地域で構成して検討したいということを決めていただいて、実質の議論というのは、モンゴルの大会の議論で承認されてから進んでいくことですから、検討委員会の設置を9月の上海大会で行えればどうでしょうかということ。です。
- 韓 国：できれば今日のこの場で中身をはっきり決めてほしいと思ひます。モンゴル大会も、上海大会もそうですけど、台湾や韓国は参加できるかどうかははっきり分かりません。ここにいない国にもということですが、それも参加できるかどうかははっきり分からない状態だし、後回しにするよりも、今きめてほしいと思ひます。日本グラウンド・ゴルフ協会の会員は18万人いらっしやると聞いていますが、日本グラウンド・ゴルフ協会ばかりを頼ってもできない話なので、やはりグラウンド・ゴルフの発祥地は湯梨浜町ですから、わたしたちもこの場を借りて湯梨浜町が頼りなので、湯梨浜町で決めてほしいと思ひます。
- 町 長：ご意見を踏まえまして、とりあえず今日のこの会議でご参集の国・地域で300人以上の会員がいる国々で、検討委員会を組織して検討しようということを決めましたという通知を、上海、スペインなど今日お越しになってない国々にお送りして、了解を得るという格好で、進めさせていただいたらいかがでしょうか。
- 台 湾：お尋ねします。グラウンド・ゴルフの国際連合を設立するのに、国数の設定はありますか。
- 町 長：今のところ、そのようなことは考えていません。



台 湾：登記をするときには政府では、限定があるのではないのでしょうか。国際連盟に加入するには、国数あるいは人数に、限定があるはずですが。もしもその限定に合っているならば、いつでも設立できるのではないのでしょうか。

町 長：その辺りはまだ調査しておりません。というのも、どういう組織になるのかわかりませんし、全く任意的な団体でしたら、必ずしも承認的なことは必要ないと思います。ただし、国から助成支援を受けていくような組織になろうとすれば、今おっしゃったように時間がかかるのではないかと思います。

台 湾：条件項目を調べればわかるのではないのでしょうか。国数が足りないなど限定に合わなければ仕方ありませんし、もしも限定に合っていれば、いつでも設立の登記ができるのではないのでしょうか。

町 長：グラウンド・ゴルフについては新しい取り組みですので、直接的には引かかることはないと思いますが、是非調べてご報告いたします。

台 湾：国際登記は何か国くらいで登記できるのでしょうか。国数が分からなければ、わたしたちは今登記のことを考えるのはちょっと難しいです。もしも国数が不足しているのであれば、たくさんの国々が集まるようにしなくてはならないと思います。

町 長：その辺りも検討委員会で議論を深めていきたいと思います。

台 湾：町長さんは知らないのですか。

町 長：ええ、ちょっと承知していません。

台 湾：組織を設立する上で、特に国数が大切だと思います。何か国あれば、国際連合として登記できるのかを、まず湯梨浜町が調べてから初めて委員会を組織しましょう。

町 長：はい、わかりました。

台 湾：条件が合わなければ、来年、再来年も難しいでしょう。

町 長：はい、わかりました。じゃあ、ちょっと時間も押してきましたので、話の区切りがついたところで、日本協会の会長さんが見えですのでここで少しお時間をいただき、ごあいさつをいただきたいと思います。

日本協会長：皆さん、こんにちは。本当に熱心にご議論いただきありがとうございます。わたしも昨年、一昨年、この会議にお邪魔いたしました。国際化の問題は、日本協会



も考えていない訳ではございません。ただし、国際的な組織を日本協会が作るとなると、日本協会は国から認可を受けた団体ですので、国際化を働きかける場合にはそれぞれの国にそれらしき組織がきちりあって、規約もあって、予算もきちりしている、そういった組織体が集まって、日本協会が組織を作るのであれば、それは可能だと思いますが、グラウンド・ゴルフは今どちらかというと、多くの国々では同好会的なところ



が多いと思います。恐らく国レベルで組織されているのは、ここにお座りの国とスペインくらいだとわたしは認識しています。したがって、我々日本協会が、直ちに国際化に踏み切る状況ではないものですから、そういう時に町長がグラウンド・ゴルフ発祥の地である湯梨浜町で、そういった組織体を作りたいと、しかもオリンピックの翌年にはワールドマスターズゲームズという世界中からプレイヤーが集まる大会があるから、それを契機として国際組織を作りたいということはわたくしども十分理解しました。ですから、先ほど台湾の会長さんがおっしゃったように、何か国以上なければ、できるのかできないかという問題ではなくて、任意的な組織を集めて町長が作ろうとしている動きは、別に今このまま進んでも何の問題もないとわたしは認識しています。町長がおっしゃるように、ここにいらっしゃらない国も含めてもっと協議されて、2021年くらいを目途に進められたらいかかかとわたしは思いました。いずれにしても、グラウンド・ゴルフの普及にご尽力いただいている皆さんに心から御礼申し上げます。

韓 国：組織を作る話が後回しになると、2021年のワールドマスターズゲームズに参加するプレイヤーの人数が、今より減るのではないかと心配します。今までは個人負担で出場していましたが、国際組織設立の話になると、韓国政府も個人に支援してくれますから、人数も増えるはずですが、今の話を聞くと、はっきり決めずに後回しになるようですから、われわれも国際組織ができないと、韓国からたくさんの人を集めて来られません。ですから、この場を借りて決めていただきたいと思います。今日決められなかった場合は、ここで議論をしても意味がないので、一つの提案として、モンゴル大会や上海大会に後回しにせず、日本で基本的な案を作ってEメールで各国に送り、意見をもらうことにより、国際組織設立の時期を早めることができるのではないのでしょうか。とりあえず、3か国でも4か国でもいいので、組織を作った方がいいと思います。

町 長：わたしが先ほど申しました意見は、規約を作るなど具体的な作業がありますし、クリアしなければならぬ課題が多くありますから、今日のところは検討委員会を設置することをこの4か国で決めておいて、こういう決議をしましたということを検討委員会の構成員である上海やスペインにお送りして、ご参画いただけませんかという形で検討委員会を立ち上げれば良いと思います。少なくとも今日出席いただいた4か国ではそのような意思を確認し、先ほど申し上げたような300人以上の会員のいる国・地域が構成する委員会で検討していきましょと通知させていただければと思います。

韓 国：今の話ですと、検討委員会はまだ設立されていない状態ですね。設立されていませんが、4か国でこのような話をしましたと、上海、スペインに通知するということですか。

町 長：まず同意を得た上で、次のモンゴルの大会で世界の何か国かが集まってくればその場でも周知していただければと思います。



韓 国：モンゴルや上海の大会にどのような国が参加されるかわからないので、その時は難しいのではないかと思います。

町 長：モンゴル大会に参加されない国についても、先ほどモンゴルの会長さんがお話しされたとおり、組織を作るという動きがあるということ、皆さんからお伝えしていただいて、モンゴルに来られない国にはご通知差し上げさせていただければと思います。

韓 国：検討委員会は誰が主催するのか、だれが主権を持つのか、この問題のキーを握るのは、湯梨浜町長ではないかと思います、いかがでしょうか。

町 長：実は6月のモンゴルの大会にわたしは所用により伺えません。しかしながら、副町長が行きますし、鳥取県スポーツ課長も行かれますので、副町長が提案させていただくということでどうでしょうか。

韓 国：町長さんが行かなくてもいいのですか。

町 長：ここで皆さんにご承諾いただければ約束を破るようなことはしません。

韓 国：わたしは韓国グラウンド・ゴルフ協会の会長であります。町長にお願いがあります。グラウンド・ゴルフ協会の会長として、グラウンド・ゴルフ協会を生かしていかないといけない、グラウンド・ゴルフを発展させなければいけない、それが私の立場であります。グラウンド・ゴルフを通じて社会貢献したい、そしてグラウンド・ゴルフを通じて韓国の高齢者に幸せになってほしいと思っています。韓国には6万人の愛好者がいます。わたしは6万人の愛好者の中の誇りある会長であります。わたしの責任は重いので、国際大会があるたびに、韓国の組織として海外に行きますから、何とか補助していただけないかとお願いしています。そのたびに韓国の機関から聞かれます。日本グラウンド・ゴルフ協会の招待で行くのか、それとも国際組織のある大会なのかと。ただし、日本グラウンド・ゴルフ協会から招待される場合は補助金がもらい辛いのですが、国際組織というと補助金をもらいやすいので、今のところ、日本グラウンド・ゴルフ協会では力不足のため、キーになるのは湯梨浜町です。今まで湯梨浜町では多くの予算を計上し、出費して、わたしたちを参加させていただきましたが、そういう問題ではないと思います。参加される各国のプレイヤーたちが心を一つにし、国際組織を作るべきだと思います。ですから、国際組織的なものを早めに作っていただき、次回国際組織があることにより、我々がきちんと参加できることを町長さんをお願いしたいと思います。

もう一つ追加させていただきます。今回は選手だけ来させて、私は欠席しようと思っておりましたが、わざわざ大韓民国の体育会の担当主任を連れて来させていただきました。主任に直接自分の目で見て現状を把握していただいて、これからどういう形で国際組織が設立されるのかを皮膚で感じてもらうために連れて来ました。



町 長：韓国はなるべく早くというお気持ちはよくわかります。なかなか海外の国々で、すべて自分で負担し続けていくのは難しいと思います。モンゴルの大会でと申し上げましたが、現在のところモンゴルの大会には多くの国が参加を予定されているという聞いています。今日の大会よりはるかに多い国々の人が参加されるという側面がございますので、その場で、この主要の6か国が構成員となって、国際組織の立ち上げを検討しますということをお伝えしていただきたいという趣旨でございます。その中で、まだ構成員の少ない国々の人たちにも知っておいていただきたいという思いです。

実際、検討委員会を設け、その議論の中で、自分の国ではこういう問題を抱えている、だからもっと早く国際組織を設立すればいいなどといった議論をしていただければいいと思います。台湾からありました、国際組織として認定してもらえようようなことが必要であるならば、そちらをクリアするための議論もしなければなりません。そういった点からいうと、スケジュール的には6月のモンゴルの大会で次の段階に進んでいけたら、そんなに時間はかからないと思います。

韓 国：6月のモンゴル大会には、プレイヤーのみ参加させますか。それとも、ある程度組織を設立できる肩書きのある人が参加されるのですか。

町 長：多分今回と同じような意見交換会の形になると思います。

韓 国：町長や会長が参加されるような形ということですね。参加できるかどうかを把握しておいた方が安心します。

町 長：今考えておりますのは、先にも申し上げましたが300人以上の会員を有する国と地域で設立するということを決めておいて、それを宣言するというか、ほかの少ない構成員の国々に知っていただくために、意見交換会の中でお知らせできればというところなんです。実質上今日出ておりました、組織を作るにあたって、国際的なものとして登記の関係で何か国必要かといったことは、事務的に並行して勉強したいと思っておりますので、とりあえず今日の4か国で、よしじゃあ、国際組織設立に向けて頑張ろうとこの場で決めていただきたいと思います。そうすれば、湯梨浜町は上海とスペインに連絡して、こういう意思をみんな持っていますから、やりましょうと通知を差し上げて、幹事国で検討委員会を設立して議論を加速させていければと思っています。検討委員会については、集まることも困難ですので、上海の大会の時に開催してはどうかと考えています。実務上の中身を詰めていく段階で、別の国際大会になるかもしれません。今日お集まりいただいた4か国は絶対やろうという気持ちで決意を表明していただければ、町としてはそれに向かって動き出すということでございます。

韓 国：今日ある程度決めるということですか。

町 長：それでは国際連合体の結成に向けて、今日お集まりの4か国と地域が取り組むということを決議するというところでよろしいでしょうか。このことをこれからすぐにスペインと上海にご参画をお願いした上で、モンゴルの大会でお知らせしてい



きたいと思います。4か国が幹事国となって、立ち上げていくということになるかと思いますが。そういうことで今日のところはよろしいですか。時間も大分超過いたしましたので、よろしいですか。ありがとうございました。加速して団結してみんなで頑張っていきたいと思います。モンゴルから皆さんにお知らせしたいことがあるそうです。

モンゴル：モンゴルでは初めて、市主催のオープン大会が6月29日、30日に開催されます。会場はチンギス・ハーンが建てた場所です。高校から20キロ離れたところで開催します。このアジア・オープン大会には日本、ロシア、中国、スペイン、カザフスタン、韓国、ポーランド、ハンガリー、インドが参加します。大会は男女別に開催します。年齢区分については7歳から49歳まで、そして50歳以上という二つの部門で行います。本大会のマスコットは、今年は犬年ですので犬を加工したマスコットを作りました。表彰状とメダルも作りました。改めて申し上げますが、韓国と台湾からもご参加くださいますよう関係者の皆様にお話しただけたらと思います。開会式は、アセムというアジア各国の首脳会談が行われた場所で行います。そしてグラウンド・ゴルフの普及について、検討委員会の設立についても積極的に意見交換したいと思います。ご清聴ありがとうございました。

町 長：その他、台湾でも国際大会があると聞いております。

台 湾：来年の3月です。

4. 閉会

町 長：日程が決まりましたら、お知らせいただければと思います。これから難題もあるかと思いますが。協力し合って、グラウンド・ゴルフが世界に羽ばたけるように頑張っていきたいと思います。本日は長時間ありがとうございました。

